

令和２年度 第２回 向日市子ども・子育て会議

○日 時 令和３年３月１９日(金) 午後１時３０分～午後３時

○場 所 向日市役所 本館 第７会議室

○出席者 (出席委員１３名)

足立阿季子委員、安藤和彦委員(会長)、岩野修委員、海東紗代子委員、加原ゆり委員、木村友香梨委員、清水章委員、高山紀公子委員、田中久美子委員、津田陽委員、花安肇委員、春田由香里委員、宮地健一委員
(５０音順)

(事務局１３人)

【市民サービス部】

小賀野市民サービス部長、川本市民サービス部副部長、柴田福祉事務所長、長谷川健康推進課長、岡本障がい者支援課長、松山子育て支援課長、荒賀子育て支援係長、小野寺子育て支援課主任

【教育部】

清水教育部長、田邊教育部副部長
長谷川教育総務課長、鹿島生涯学習課長、松石学校教育課長

○欠席者 (委員６人)

風谷千賀子委員、築山剛委員、野田昌之委員、船倉哲生委員、山道理詠委員、余根田聡委員(５０音順)

○傍聴者 ０名

○議 題 (１) 令和３年度「第２期向日市子ども・子育て支援事業計画」に係る主要事業について
(２) 保育所入所状況について
(３) その他

議題１ 令和３年度「第２期向日市子ども・子育て支援事業計画」に係る主要事業について	
事務局	資料１を用いて事務局から説明 (資料１についての主な質疑・意見)
委員	公立保育所環境整備事業・未来の保育士支援事業について、幼稚園では ICT 化が課題となっており、保育士の確保が難しい状況である。 幼稚園には、実施されないのか

事務局	今回の ICT 化事業については、公立保育所が対象であり、民間保育所は対象となっていない。保育士の確保については、民間保育所の保育士確保が困難なため、児童の受入れができない状況であり、待機児童解消のためにも、民間保育所から要望を受けて実施するものである。
委員	子ども・子育て会議では、公立・私立、保育所・幼稚園に関係なく、向日市全体の子どものことを考えてほしい。
事務局	民間保育所については、基本的にほとんどの保育所で ICT が導入されており、公立保育所の方が遅れている状況である。
委員	民間保育所は、運営補助金の中で ICT 化をやっているのか。 幼稚園に対しても、同じようにしてほしい。
事務局	運営補助金として補助しているものではない。
委員	国が何年か前に ICT 化の補助金を全額国庫負担で上限を 100 万円で補助事業を行っており、その時に民間保育所は整備を行っている。
委員	幼稚園には公的援助がない。
事務局	私立幼稚園に対する ICT 化の補助事業を、国を通して京都府が行っていると認識している。
委員	その補助金については、上限が 70 万円であり、期限が決まっている。
委員	公立保育所環境整備事業について、紙おむつ処分事業については、大変いい事業である。兄弟で保育所に自転車に通っている場合、布団の持ち帰りが危険であるため、布団についても検討してほしい。産後ケア事業について、利用者負担を伺いたい。
事務局	布団については、保護者の方から要望があったが、先行的に ICT とおむつの処分を行う。以前、布団のレンタルもしていたが、利用者が少なかったと聞いているため、今後、検討していく。
事務局	産後ケアの自己負担額については、委託料として、ショートステイ約 3 万円・デイサービスで約 1 万 5 千円を予定しているが、所得に応じて、非課税世帯・生活保護世帯は、ショートステイ 600 円・デイサービス 300 円、課税世帯については、夫婦

	での所得が 730 万円以上の場合は、それぞれの委託料の半額を負担していただき、730 万円以下の場合は、5 分の 1 程度の負担でショートステイ 6 千円・デイサービス 3 千円を負担していただくことを考えている。
委員	布団の件については、布団の貸し出しは、利用者が少なかったと思うが、民間保育所ではコットを使用しているがその辺りはどうか。
事務局	収納場所等の課題があり、解決できるかどうかを含め、検討していくことになる。
委員	布団の貸し出しがあれば助かる部分もあるが、既に購入している人にとっては、お金を払ってまで利用しない人もいるため、選択制がいいのではないかと。 また、オムツについても、年齢が上がるにつれて使用枚数が減り、持って帰って処分してもいいと思っている方もいるため、選択制がいいのではないかと。 白ご飯についても、持って行くのが大変な家庭がある。白ご飯については、選択制が難しいかもしれないが検討してほしい。
委員	幼稚園の枠はなぜ考慮されていないのか。幼稚園も人材不足である。 すべての施設・児童に対して平等にしてほしいと思う。
事務局	奨学金制度について、各民間保育所の保育士確保が難しい現状があり、待機児童対策が目的である。
事務局	1 番の課題は待機児童の解消であった。待機児童が出ている原因の 1 つとして保育士不足がある。今回は、待機児童の解消を目的としているので、ご理解いただきたいと思う。
委員	奨学金制度については、保育所としてはありがたいと思っている。 あわせて、地方からも来る保育士もいるため、家賃補助についても検討してほしい。
委員	学校施設環境整備事業について、外壁工事はいいと思うが、他の教育環境・施設面での課題について、トイレ・ICT 化・中学校の給食については、どうか伺いたい。
事務局	ICT 化については、令和 2 年度に整備を進めており、各小学校にアクセスポイントを設置し、ネット環境を整える工事をしており、令和 3 年度からできる予定となっている。トイレについても、順次、工事を行っており、今年度は 10 か所ほど実施した。 小・中学校の手洗い場についても、自動水栓の工事を今年度に完了する。
事務局	ICT 環境について、新型コロナウイルスの影響により大幅に早めて整備している。4

委員	月には、すべての児童に端末を配布する。給食センターで３校分の給食を提供しており、児童も慣れてきたのではないかと思います。
事務局	オンライン授業もできるくらいの環境になるのか。
事務局	オンライン授業も可能であるが、先生や児童も ICT の経験に差があるため、段階的に取り入れていきたいと考えている。
＜議題２＞保育所入所状況について	
事務局	資料２について説明
	(資料２についての主な質疑・意見)
委員	国基準では理解しているが、兄弟が別々の場合などもある。国基準以外の実数は何人か。
事務局	現時点では、調整を終えたところであり、数字は不明である。
委員	０歳児は入所できたが、３歳児は幼稚園になったと聞いている。３歳児の枠が厳しいと思うが、どうか。
事務局	小規模保育所の卒園児の関係もあり、３歳児の枠が厳しい状況である。保育士を確保し、枠を確保していきたいと考えている。
委員	保育所は、スペースがあっても保育士がいない状況である。加配児童の行き場所がないのも課題であると思う。
＜議題３＞その他	
事務局	１点、ご報告がある。向日市で２箇所目となる民間の放課後児童クラブが開設する。名称は「放課後クラブ２５１」で、場所は向日市寺戸町殿長５ マナティスイミングスクール２階で開設される。運営主体は、特定非営利活動法人 HUMAN FACTORY で、定員は４０名で市内全域の児童が対象となる。
委員	療育環境について、進捗状況を報告してほしい。
事務局	京都府で基本構想を作られ、検討されている。

委員	全戸訪問は、非常に先進的で良いことだと思う。今後は、父親をどのようにして育児に参加できるようにするか工夫が必要である。
事務局	今年度の２月に２回「パパ塾」という講座をねこばす・広聴協働課と共同で開催した。 以上